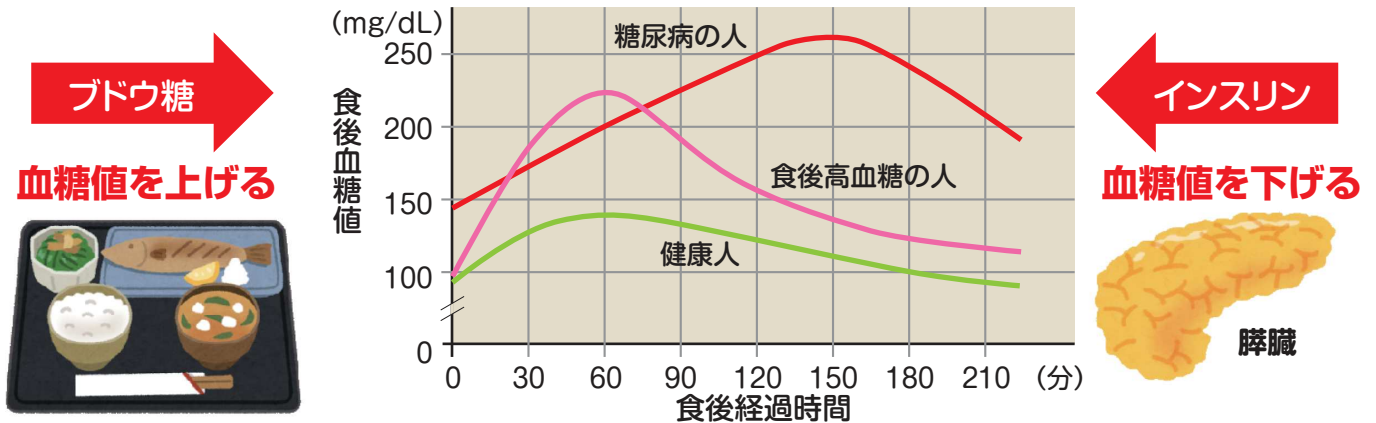


糖尿病 (diabetes mellitus[DM]) について知ろう

糖尿病とは、血糖値を下げる「インスリン」がうまく働かなくなり、慢性的に血糖値が高くなる代謝疾患です。放置すると全身にさまざまな影響を及ぼし、合併症を引き起こします。



血糖とは血液に含まれるブドウ糖のことで、血糖値とは血液に含まれるブドウ糖の量のことを言います。食事をすると血糖値は高くなりますが、運動や活動によってブドウ糖がエネルギーとして消費されると血糖値は低くなります。健康な人の場合、血糖値はインスリンやホルモンの働きにより、一定の範囲内にコントロールされています。そのため食事や運動をしても血糖値が極端に変動することはありません。

糖尿病の原因と4つの分類

糖尿病はインスリン供給不全の『I型糖尿病』とインスリン抵抗性の『II型糖尿病』の発症が多く見られます。また、肝疾患や遺伝子異常などの『特定の原因による糖尿病』や『妊娠糖尿病』で発症することもあります。

I 型糖尿病 (インスリン供給不全タイプ)

膵臓のインスリンを作り出す「β細胞」が何らかの原因で破壊されてしまい、インスリン分泌がほぼゼロになってしまう病型です。子どもや若年者に多くみられます。

II 型糖尿病 (インスリン抵抗性タイプ)

インスリンの分泌が少なくなったり、働きが悪くなるために起こる病型です。日本の糖尿病患者の約95%がII型糖尿病と言われており、II型糖尿病は「生活習慣病」の1つです。

このような生活習慣が危険です!



その他の特定の機序、疾患によるもの

遺伝子の異常によるもの、肝疾患などほかの病気や薬剤に伴って起こるものがあります。

妊娠糖尿病

妊娠中に初めて発見または発症した、糖尿病に至っていない糖代謝異常のことをいいます。